

「氷川町ゼロカーボンシティ」宣言

近年、地球温暖化が一因とされる気候変動により、世界各地で記録的な猛暑、大雨、台風などの異常気象が多発しており、今後、さらに自然災害等のリスクが高まると予測されています。2020年7月には豪雨により、本町の近隣を流れる球磨川が氾濫し、激甚的な災害が発生しました。気候変動問題は、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

地球温暖化は、大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスの増加が主な要因とされています。そのため、2015年に合意されたパリ協定では、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5℃に抑える努力をする」という目標が掲げられました。

日本においては、2020年10月に政府が、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」と宣言し、2021年4月には地球温暖化対策推進本部にて「2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減する」と発表されました。

氷川町においても、「安心して暮らせ、幸せを実感できる持続可能な田園都市・氷川町」の創生を目指すため、町民、事業者などと一体となり、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すことを宣言します。

令和5年10月20日



氷川町長 藤本 一臣